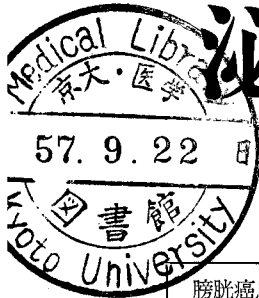


泌尿紀要
Acta Urol. Jap.

Vol. 28, No. 9 ACTA UROLOGICA JAPONICA September 1982



泌尿器科紀要

第28巻 第9号 1982年9月

膀胱癌患者の細胞性免疫能に関する研究

第7報：患者血中 β_2 -Microglobulin (β_2 -MG) について ……西尾 正一・ほか…1073

東海大学病院泌尿器科における尿中分離細菌について

第2報：1979～1980年の分離細菌とディスク感受性について……岡田 敬司・ほか…1081

尿中 γ -glutamyltranspeptidase 活性測定による

腎臓腫瘍鑑別診断 (英文) ……西澤 芳男…1099

腎細胞癌の臨床病理学的検討……村瀬 達良・ほか…1103

尿管S状腸吻合術による尿路変更の経験……矢崎 恒忠・ほか…1111

放射線性膀胱炎の27例……松島 正浩・ほか…1121

Stage D 前立腺癌に対する Cyclophosphamide 大量間歇療法 ……藤井 昭男・ほか…1127

副腎嚢腫の1例……木内 利明・ほか…1133

後腹膜平滑筋肉腫の1例……宮城徹三郎・ほか…1141

腸骨動脈瘤による尿管の変位……村上 泰秀・河村 信夫…1149

限局性膀胱アミロイドーシスの1例……藤広 茂・ほか…1153

Klinefelter 症候群に合併した睾丸奇形腫の1例 ……宮崎 善久・ほか…1161

造精機能導入に成功した Kallmann 症候群の1例 ……布施 秀樹・ほか…1167

大阪大学泌尿器科学教室における最近5年間 (1977～1981)

の手術症例について……中野 悦次・ほか…1173

東海大学医学部泌尿器科学教室における手術統計

(1978年3月～1981年12月)……大越 正秋・ほか…1183

尿路感染症に対する Gentamicin 点滴静注法の使用経験……北島 敬一・林田 重昭…1187

前立腺肥大症に対する TSAA-291 長期投与時の有効性ならびに安全性に関する検討

—特に血中 hormone に対する影響—……勝見 哲郎・ほか…1193

複雑性尿路感染症に対する静注用 Fosfomycin の臨床成績……上領 頼啓・酒徳治三郎…1201

Editor: Prof. Osamu YOSHIDA, M.D.
Department of Urology, Faculty of Medicine,
Kyoto University, Kyoto Japan
京都大学医学部泌尿器科学教室

禁帯出

着後1ヶ月間

編集後記

第14回日本医学教育学会大会が本年7月16, 17日, 東京慈恵会医科大学・高木会館において“良医をつくる医学教育—病気を診ずして病人を診よ—”を基調テーマにしておこなわれた。日野原重明先生の特別講演「William Osler の源流を訪ねて」をはじめとして非常に内容の充実した大会であった。

中でも最後におこなわれたパネルディスカッション「これからの医学教育はいかにあるべきか」は、わが国の医学教育の現状を踏まえ、将来のビジョンを語り、さらに21世紀の医療の予測にまでおよぶものであった。

この点についての私見はいろいろあるが別の機会に述べるとして、ただいえることはわが日本泌尿器科学会においてもこのような討論が大いになされるべきであり、またいずれ学術大会でもとりあげてよいテーマであるということである。

われわれの学会の教育委員会の役割も重大である。新委員長安藤弘東邦大教授の深遠な哲学と素晴らしい実行力に大いに期待しかつ心から声援をおくるものである。(O. Y.)

購読要項 (1982年6月改定)

1. 発行は毎月、年12回とし、年間購読者を会員とする。
2. 会員は年間予約購読料5,000円(送料とも)を前納する。払込みは振替に限る。口座番号 京都4772番泌尿器科紀要編集部宛。
3. 入会は氏名(フリガナ)、住所(雑誌郵送先)、勤務先を記入のうえ編集部あて、はがきにて申し込む。

投稿規定 (1982年6月改定)

1. 投稿: 連名者を含めて会員に限る。
2. 原稿: 泌尿器科学領域の全般にわたり、総説、原著、症例報告、そのほかで和文または英文とする。
 - (1) 長さは制限しないが簡潔にする。
 - (2) 和文原稿はB5版400字詰原稿用紙横書き、楷書、当用漢字、現代かなづかい、平がなとし、清書する。文中欧語の固有名詞は大文字で、普通名詞は小文字で始め、タイプし、年号は西暦とする。
 - (i) 原稿の表紙に標題、著者名、所属機関名の順に和文、英文で併記する。下段に筆頭著者名(山田:または山田・ほか:)と、2語(例:前立腺がん・PSAP)からなる running title および5語(英文)以内の key words を付す。
 - (ii) 英文抄録: ダブルスペースでタイプし、その和訳をつける。
 - (3) 英文原稿はダブルスペースでタイプし、原稿の表紙に標題、著者名、所属機関名、key words (和文に準ず)、running title (和文に準ず)の順にタイプし、別に標題、著者名、所属機関名、抄録の順に記した和文抄録を付す。
 - (4) 数字はすべて算用数字を使用し、単位 m, cm, mm, l, ml, kg, g, mg, μ g, %, °C, pH などとする。
 - (5) 図、表、写真などはすべて別紙とし、写真はト

リミングする。説明は和文、英文を問わず Table 1., Fig. 2. などとし、なるべく英文とする。原稿右欄外に挿入さるべき位置を明示する。とくに図・表は必ずタイプまたは楷書で清書し、誤りのないことを確認する。様式については本誌の図・表を参照する。

- (6) 引用文献は必要最小限にとどめ、引用個所を本文中に入れる。和文は楷書で、欧文はタイプする(例: 山田^{1,3,7)}, 田中^{1,3-10)}によると)

雑誌の場合—著者名(全員): 題名, 雑誌名, 巻: 最初頁~最終頁, 発行年

単行本の場合—著者名(全員): 題名, 書名, 編集者名, 版数, 巻数, 引用頁, 発行所, 出版地, 発行年

- (7) 原稿を返却しないのでコピーを手元に残しオリジナルを書留で〒606 京都市左京区聖護院川原町54 京大病院泌尿器科紀要編集部宛送付する。

- (8) 校正は初校を著者による責任校正とし、再校以降は編集部がおこなう。著者複数の場合校正責任者を投稿時指定する。

- (9) 編集部は原稿の訂正、書き直しまたは返却を指定する権限を保持する。

3. 掲載

- (1) 論文の掲載は採用順とする。迅速掲載には迅速掲載料を要する。

- (2) 紙代、印刷費および最初1頁の組版費は編集部で負担する。残額を実費負担とし、請求は論文掲載誌発行後におこなう。

- (3) 薬剤の効果、測定試薬の成績、治療器具の使用などにかんする研究論文については、掲載料を別途に申し受ける。

4. 別刷

実費負担とし、著者校正時に部数を指定する。

| | | | |
|-------------|-------|------------|----------|
| 編集委員: 石神 襄次 | 前川 正信 | 宮崎 重 | 新谷 浩 |
| 園田 孝夫 | 友吉 唯夫 | 桐山 齋夫(副主幹) | 吉田 修(主幹) |

泌尿器科紀要 第28巻 第9号 1982年9月25日 印刷 1982年9月30日 発行
 発行 吉田 修 顧問 加藤 篤二 発行所 泌尿器科紀要刊行会
 〒606 京都市左京区聖護院川原町54 京都大学医学部泌尿器科学教室内 電話(075)751-3327(直通)
 印刷所 山代印刷株式会社 京都市上京区寺之内通小川西入
